

自治体の課題、現状

本市においては、3校の公立中学校があり、生徒数584人で27部が活動している。その中でも、単独校で成立する部活動が近年大幅に減少し、市内3中学校合同の部活動が増えている。さらに、市内3校でも部員数が不足し、近隣市と合同で活動する部活動も出てきている。

市合同部活動を進めるうえで、平日はスクールバスで2校の中学生を拠点校に輸送している状況である。休日は、保護者が送迎している。

本市では、平日の部活動が週1日と少なく、休日や夜間に地域クラブでの活動に頼らざるを得ない状況である。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	3 校	全生徒数	5 8 4 人
域内の部活動数	2 7 部	実施した地域クラブ数	1 2 クラブ
全体の指導者数	4 6 人	全体の運営スタッフ数	5 人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ NPO法人Team-yamagata Sports Club		
主な種目	ソフトボール、ハンドボール、バドミントン、陸上、サッカー、卓球 バレーボール、剣道、ソフトテニス、軟式野球、バスケットボール		
平均的な活動回数	4 回/月	年間平均参加生徒実数	3 年：7 人/クラブ 2 年：8 人/クラブ 1 年：8 人/クラブ
参加会費	7, 0 0 0 円/年	主な活動場所	高富中学校

地域移行関連の取組、成果

- 単独校から山県市合同部活動への移行は、手順を明確にして進めており関係者の総意の元で行っているため、円滑な移行が行われている。
- 生徒の多様性に応えるように、運営主体TSCでは「スクールA、スクールB」をはじめ、交流を目的とした「スポーツ広場」や競技力向上を目的とした「スポーツ教室」で構成し、プログラムを提供している。
- 指導者の質を高めることは、生徒への良質の指導につながるため、スポーツ科学の見地からの専門性を高める研修会や教室等を工夫している。
- TSCでは、倫理委員会の設置や大会参加基準の作成を進め、地域移行にとって重要な内容について体制の整備が進んでいる。

運営体制図

